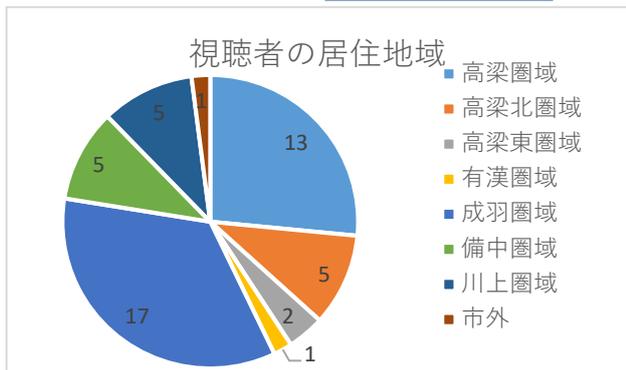
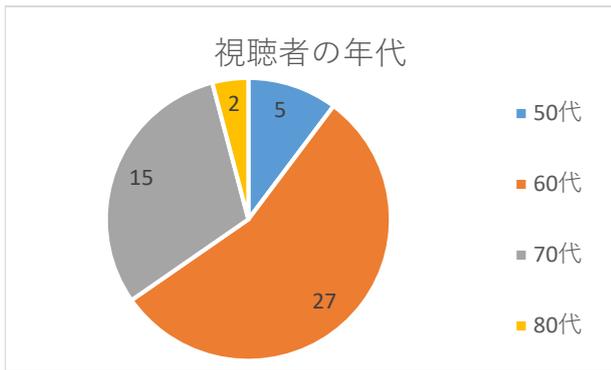


資料 1



1) 認知症とは？

母も認知症で兒玉医師にお世話になっている。日々の母の言動を日記に書き留めるようにしているが、良くはならず変化している。自宅介護は大変、自分が病気にならないようにしたい。
よくわかった。
なかなかできないことがわかった。
よくわかった。
よかった。もの忘れとの違いが分かった。
効く薬はない。環境を整える・対応を考えることが大切
認知症と物忘れの違い、アルツハイマーが一番多いこと。抗認知症薬があるが進行を遅らせる薬でよくなることはないこと等、よくわかった。周りの人が理解してあげることの大切さもわかった。
アルツハイマー型認知症が認知症の半分を占める。不安や気になることがあると何度も尋ねたりするので原因を知り解決していく。
体験したこと自体を忘れるのが認知症
わかりやすい言葉で説明されていた。
少し言葉が早くてもう少しゆっくり話してほしかったな。とてもよい内容でした。少し知識が増したようです。

2) 相談や受診について

よくわかった。
参考になった。
認知症とい疑ったときにどこへ相談したらよいかわかった。
相談できるところがありすぐ電話番号を教えられようようにしたい。受診のタイミング、誘うことは難しい
早めの受診で他の病気に気づいたり、加齢によるもの忘れだったら安心する。ただ強引な受診はNG。かかりつけ医師に相談し家族だけで抱え込まない等安心した。
本人の意思が大切。家族のコミュニケーション。決して孤立しない。
なるべくはやく受診することで抗認知症薬で進行を遅らせることができる。本人が受診をいやがる時は無理強いやうそをついて連れて行ってはいけないことを知った。
相談先や受診方法（かかりつけ医紹介）についてもわかった。「騙して受診はダメ」について大切なことだと思った。

相談窓口をよく問われることがある。足踏みするよりもまず電話相談を利用して判断することですね。（受診するときは）

3) 認知症の人への対応（寸劇）

リアルに参考にできることが多かった。

身近なことで言葉遣いにも気をつけなければならないことがたくさんあった

イライラせずに優しく対応しないといけないと思った。

声のかけ方など落ち着いた対応が必要と思った。

本人の気持ちを理解することが難しいが、優しい気持ちで対応することや自分の感情を抑えることが大切なことがわかった。わかりやすい劇で、対応の仕方も気づかされた。

わかりやすかった

本人の助けになる言葉がけの重要性

よくわかってよかった

何回聞かれても優しく答える上げる

わかりやすかった。

ひと呼吸おいて、見たらわかるように提案したり、してほしいことを短く伝えることが大事なのだと教えてもらえてよかった。

頭で理解していても、なかなか難しい。気をつけて対応していきたい。

回りにいる人が何を心がけて対応すればよいかわかりやすく説明された。対応について話具合についてわかりやすく、見た人が納得

望ましい対応が具体的にわかった

認知症になった本人も家族も相談しにくいのかな。周りの人々、気づいた人がそれとなく注意して見守る

物を盗まれた寸劇が観たかった。

身近なことで大変わかりやすかったです。

だいぶ理解できた

よくできていた

やさしい対応が大切

気長に説得する、やさしく

わかりやすい内容で参考になった。

ゆったりした気持ちで対応したい。

今、これから向かい合う事例だと思う。

自分にも思い当たる内容だった。

参考になった。

自分の接し方を見直すきっかけになった。

認知症の人の理解をもっと知らないといけないと思った。

ポイントがわかりよかった。字幕がでていたのでわかりやすかった。ゆっくり合わせてあげられる余裕を持つ工夫を考えたい。

認知症高齢者の気持ちがわかり対応する際気をつけることがわかった。

寸劇とても上手だった。認知症の人や家族もどちらも大変。ちょっとした工夫、言い方が大切。

寸劇が上手だった。認知症の人の気持ちに寄り添って対応する心の広さを持ちたいと思った。

おもしろおかしくわかりやすい。要点がまとめられている。

よかったですと思います。

4) 認知症カフェと認知機能トレーニングの紹介

日々、自宅でやってみようと思う。仕事が介護施設なので、皆さんのトレーニングに活かしたい。

頭の中ではわかっていても、いざしたらなかなか出来ず

よかった。

家でもやってみたい。

日常生活でも取り入れられるので、少しずつしていきたい。

しゃべること、笑うこと、出かけるところがあることが大切、一人ではなかなか体操できないが、練習してはやらせたい。

よいことは少しずつでも始めようと思った。

一人で抱え込まない。こんなにサポートしてくれる人たちが周りにいる。

認知症になるべくならないためにぐーぱ体操やスリスリ体操を折を見てしておこうと思う。

運動を実際に行って興味を持てた。認知症カフェについてわかりやすく紹介されていた。

とてもよかったですと思います。でもなかなかできなくて、手がひきつってくる。

5) 意見、要望について

このようなDVDがあることを知らなかったので、いつでも視聴できることを周知してほしい。

実際に映像で見るとドキッとした場面もありました。自分を振り返るきっかけになりました。

行政放送自体を知らない。視聴の仕方がわからない。

認知症の親を大変叱りつけたりしたので、亡くした後にこのような講座を聴き、悪いことをしたと思っているが、「難しい、特に親だと」そこが知ることなのかと

地域に持ち帰って利用する場を設けます

寸劇を通し対応が良かったと思う。

このような機会をまたしてほしい。

参考になった。

キビCATVでたびたび繰り返して放送してもらおうといいと思う。

よい内容、ためになる行政放送をしているのに見ている人が少ないのが残念。DVDがあってよかった。ヘルパーが観てもわかりやすかった。一般の人にも多く見てもらいたい。

わかりやすくよかった。

毎回違うトピックでの話で興味深かった。実体験に基づいている感じで勉強になった。

認知症について他人ごとではないと感じる今日この頃。自分や家族がそう感じたときは早く受診しようと思った。

DVDでは①②③④とまとめてあり、活用しやすいが、行政放送は1週間毎に他の放送と一緒にあっておりYOU tubeで出にくい。高梁市公式チャンネルで独立した番組にすれば活用しやすい

とても良い放送でした。